

教育学部・教育学研究科の学生・院生の皆さんへ 【感染症対応／令和3年度第1報】

【重要】前学期「レベル2」における授業実施・学生生活等に関するご連絡

令和3年4月8日

教育学部長・教育学部運営会議・教育学部学務係

1. はじめに

皆さん、入学または進級おめでとうございます。通常であれば希望や意欲を新たに、アクティブに過ごしたい4月ですが、残念ながら沖縄県内では新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあり、県民には慎重な行動が求められています。

琉球大学では、県内の感染状況に即して大学としての対応を決定するための「琉球大学新型コロナウイルス感染症拡大防止の活動制限指針」が策定されており、今学期は活動制限「レベル2」でスタートします。「レベル2」における「教育活動／講義、演習、実習等」は「部局長等が承認する場合には、感染拡大防止の措置を講じた上で、対面で実施することができる。これ以外の場合は、遠隔で実施する。」となっていますが、「人と人が関わる」学校教育教員を養成する教育学部では、感染症対策を講じたうえで、可能な範囲で「対面形式の授業」（以下「対面授業」）を行っていきます。

ただし、教室に入る人数（受講者数）が「教室収容定員の5～6割」以上になる授業科目については、感染の危険ありとして「遠隔形式の授業」（以下「遠隔授業」）を推奨します。各授業がどの形式を取るかについては、シラバスでご確認ください。両形式の混在により不便な点がある反面、多様な授業を受講することのメリットもあると思いますので、皆さんが工夫して充実した学生生活を取り戻されることを願っています。

なお、感染症拡大状況によっては、今後もレベルの変更や、それに伴う授業形態の変更も想定されますので、全体的な情報については大学および教育学部HPを、個別の授業についての情報については「教務情報システム」の「メッセージ」や同システム経由で送られるメールをスマートフォンで読める設定にするなど、定期的にチェックする習慣を付けてください。また、年次指導教員が指定する手段（LINE、メール等）でいつでも連絡が取り合えるようにしてください。

2. 「レベル2」における「対面授業」の受講について

上記のとおり、受講学生が使用教室の収容人員の5～6割以下である場合に「対面授業」可としています。受講してみて「密」だと感じる授業があった場合には、学務係にご相談ください。また、「対面授業」を受講するために校舎内・教室内に入る際には、下記に十分気をつけてください。

- 朝晩の検温を心がけること。37度とも言われますが、平熱+1度以上の発熱があったり体調に違和感があったりする場合には、登校を控えてください。その旨をメール等により授業担当教員に届け出れば、授業は欠席扱いとなりません。

■マスク着用を必須とします。（周囲との距離が保たれている際の息抜きや水分補給の際にマスクを外すことはもちろんできますが、いつでも再着用できるようにしてください。）健康上の理由等でマスクを着用できない場合は、学務係にご相談ください。

■教室に入る前には、手指消毒または手洗いをお願いします。長机を複数人で使用することを避け、受講者間で一定の距離を取って着席するようにしてください。（教員には座席指定を勧めています。）必要以上に教室内の備品に触れないようにし、授業担当教員の指示に従って、授業時間内の換気や授業終了後の教室の消毒・除菌にご協力ください。

■校舎内で他者と話をする際は常に、適度な距離を空けるように努めてください。

なお、ウイルスに対する身体的・精神的な不安から「対面授業」への出席を望まない学生は、授業担当教員に遠隔対応を願い出てください。（実習・実践を中心とする科目においては、対応できない場合もあります。）遠隔対応できそうな科目なのに授業担当教員が対面参加を強いる場合には、学務係にご相談ください。

3. 「レベル2」における「遠隔授業」の受講について

下記の場合、授業担当教員に「遠隔授業」の実施を推奨しています。

- ・受講人数が多いなどの理由により「三密」を回避できない場合。
- ・教員自身に感染症に対する身体的・精神的な不安がある場合。
- ・受講学生の多くが前後の時間で「遠隔授業」を受講しており、当該授業のために登校させるのは望ましくないと判断される場合。
- ・授業内容的に「遠隔授業」のほうが高い学習効果を得られると判断される場合。

特にオンライン型の授業の受講で機器や環境に問題があるときは、学務係にご相談ください。ノートパソコンやWebカメラ（デスクトップパソコンで受講する際に必要）、モバイル型Wi-fiルータ等の貸出を、1年次を優先しながら随時行っています。

オンデマンド型（録画やパワーポイントなどの視覚教材に自分でアクセスして受講するタイプ）や課題提示型（シラバスやWebclassなどで指示された課題を行うタイプ）の授業において、与えられる課題が学修時間の目安を超えると判断される場合（大学設置基準が示す学修時間の目安では、例えば実際の授業1時間に対しては2時間の事前事後学習がセットされています）も、学務係にご相談ください。

対面形式・遠隔形式のいずれにおいても、教員には規定の授業時間を超過してはならないと伝えてあります。授業時間を大幅に超過するなどして、次の時間の受講準備に差し支えるような授業がある場合には、学務係にご一報ください。

4. 「レベル2」における大学構内での過ごし方について

対面授業で顔を合わせた仲間とは、さまざまな交流も行いたいでしょうが、現在の沖縄県内の状況を踏まえて、「新しい生活様式」を意識しつつ、感染症罹患を回避する日常生活・学校生活を心がけるよう、自覚をもって過ごしてください。自分自身は気にならなくても、感染を強く恐れている仲間がいるかもしれないことを、常に念頭に置きましょう。大学構内で特に注意していただきたいことは、下記になります。

■その日の授業が全て終わったら、必要以上に校舎内に留まらず、帰宅するようにしてください。

■上級生を中心とする各専修の学生控室の使用については、「3密」を避け、除菌・消毒・換気を習慣化してください。マスク着用もマナーです。

■「遠隔授業」を受講する学生が使用できる、学内無線 LAN (ryukyuAP) に対応済みの教育学部棟内の教室は下記です。使用の際は各教室に掲示してある入室ルールを厳守してください。自分が使用した机や椅子は、備え付けの消毒・除菌用品等を使って拭いてから退室してください。

101室／201室／232室／243室

344室（ラウンジ）／541室（ラウンジ）

■空き時間に1階の空き教室を利用する場合には、自分が使用した机や椅子を、備え付けの消毒・除菌用品を使って拭いてから退室してください。

5. おわりに

大学生活において何らかのストレスを感じたら、抱え込まずに話をしやすい教員に相談してください。

また、保護者および本人の経済的状況が苦しく修学に困難をきたす学生に対しては、大学内外で多くの支援が実施されています。情報をまめにチェックして、ぜひ機会を活かすようにしてください。

※参照（琉大公式HP）<https://www.u-ryukyu.ac.jp/campuslife/support/>

新型コロナウイルス感染症との付き合いは長く続きそうです。皆さんのうちの多くは、将来学校教員となることを目指していると思います。将来の子どもたちへの指導・支援もイメージしながら、感染対策に自覚的であってください。

いろいろな制限がある中ではありますが、教員も工夫しながら皆さんに良い授業を提供してまいります。学生と教員が、また学生同士が、互いに思いやりや誠意をもつことで、教育学部が充実した学びの場となるよう、どうぞよろしく願いいたします。

以上